



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社
 コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務担当 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	7,188	7.1	1,897	0.8	1,806	6.1	1,286	11.5
2018年3月期第3四半期	6,713	10.8	1,882	7.0	1,703	4.1	1,153	△7.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,272百万円 (11.3%) 2018年3月期第3四半期 1,143百万円 (0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	90.07	89.94
2018年3月期第3四半期	81.63	81.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	20,719	17,371	83.7
2018年3月期	20,472	16,419	80.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 17,332百万円 2018年3月期 16,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年3月期	—	10.00	—		
2019年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,360	△1.1	1,630	△12.2	1,430	△8.8	1,010	△7.8	70.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	14,344,100株	2018年3月期	14,237,500株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	21株	2018年3月期	19株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	14,283,580株	2018年3月期3Q	14,131,903株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、医薬品事業及び感染管理事業の増収から、対前年同期比7.1%増の7,188百万円となりました。売上総利益につきましては、増収影響等から、対前年同期比4.3%増の5,184百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング強化に伴い、人件費、販売費等が増加し、対前年同期比6.5%増の3,286百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益につきましては、対前年同期比0.8%増の1,897百万円となりました。経常利益につきましては、京都工場・研究開発センターにおける未稼働設備関連費用の減少や為替差益の計上等により増益幅が拡大し、対前年同期比6.1%増の1,806百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、対前年同期比11.5%増の1,286百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、対前年同期比2.5%増の3,968百万円の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、前第1四半期連結会計期間に「正露丸クイックC」を初期出荷した反動等により、対前年同期比で減少となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場向けの出荷が増加となる等、概ね計画通りの進捗となり、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、増収影響及び広告宣伝費等の減少により、対前年同期比2.7%増の1,660百万円の利益となりました。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、対前年同期比13.6%増の3,207百万円の売上高となりました。

国内一般用製品の売上高につきましては、製品デザインのリニューアルに伴う販促強化により店頭陳列スペースが拡大し出荷が大幅に増加し、さらに、2018年12月より新TVCMを放映開始し、店頭販売も好調に推移したこと等から対前年同期比で増加となりました。なお、新製品「クレベリン スティック ディズニードesign」、「クレベリン×ベアブリック トイ・ストーリーキャラクターデザイン」も増収に寄与しました。なお、店頭販売動向につきましては、市場全体は対前年同期比9%増となった一方で、当社製品は対前年同期比17%増であり、市場全体の成長を牽引しております(出所:株式会社インテージ)。

国内業務用製品の売上高につきましては、置き型タイプの出荷が好調に推移したこと等により、対前年同期比で増加となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場における新規販売代理店のテストマーケティング用の出荷があったこと等から、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、増収影響の一方で、マーケティング部門の人員強化等による人件費の増加や製品デザインのリニューアルに伴う広告宣伝費・販売促進費等の増加により、対前年同期比9.6%減の1,036百万円の利益となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比27.8%減の12百万円となり、セグメント損益につきましては、23百万円の損失(前年同期は12百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は20,719百万円(前連結会計年度末比247百万円増)となりました。負債合計は3,347百万円(同705百万円減)、純資産合計は17,371百万円(同952百万円増)となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、投資有価証券の増加等による固定資産299百万円の増加、未払金の減少等による流動負債738百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による純資産952百万円の増加等があります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末から3.7ポイント上昇し83.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,547,511	5,443,353
受取手形及び売掛金	3,385,102	4,375,663
商品及び製品	834,076	845,015
仕掛品	439,313	416,360
原材料及び貯蔵品	251,245	277,744
その他	130,208	183,502
貸倒引当金	△23,500	△30,500
流動資産合計	11,563,956	11,511,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,241,590	3,092,203
機械装置及び運搬具(純額)	539,008	481,950
土地	2,108,947	2,108,947
建設仮勘定	1,744,806	1,747,921
その他(純額)	260,937	280,568
有形固定資産合計	7,895,290	7,711,590
無形固定資産	92,219	214,575
投資その他の資産		
投資有価証券	332,163	741,922
その他	589,122	540,542
投資その他の資産合計	921,285	1,282,465
固定資産合計	8,908,795	9,208,631
資産合計	20,472,752	20,719,770
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,484	593,239
未払金	1,296,184	688,983
未払法人税等	332,529	248,938
返品調整引当金	150,000	149,000
賞与引当金	278,497	86,523
役員賞与引当金	82,382	—
その他	252,129	311,499
流動負債合計	2,816,207	2,078,183
固定負債		
長期末払金	562,700	549,500
退職給付に係る負債	654,724	681,030
その他	19,555	39,089
固定負債合計	1,236,979	1,269,620
負債合計	4,053,186	3,347,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	683,130	776,312
資本剰余金	889,518	982,700
利益剰余金	14,662,917	15,450,271
自己株式	△21	△25
株主資本合計	16,235,544	17,209,258
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	136,371	122,832
その他の包括利益累計額合計	136,371	122,832
新株予約権	47,648	39,876
純資産合計	16,419,565	17,371,966
負債純資産合計	20,472,752	20,719,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	6,713,632	7,188,503
売上原価	1,728,514	2,005,356
売上総利益	4,985,118	5,183,146
返品調整引当金戻入額	129,000	150,000
返品調整引当金繰入額	144,000	149,000
差引売上総利益	4,970,118	5,184,146
販売費及び一般管理費	3,087,255	3,286,650
営業利益	1,882,862	1,897,495
営業外収益		
受取利息	896	2,917
受取配当金	26	4,521
為替差益	—	38,829
受取賃貸料	14,377	14,364
その他	2,082	3,719
営業外収益合計	17,383	64,351
営業外費用		
為替差損	1,675	—
賃貸費用	3,511	3,484
未稼働設備関連費用	191,122	150,052
その他	821	1,879
営業外費用合計	197,131	155,417
経常利益	1,703,115	1,806,430
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,000
新株予約権戻入益	—	250
補助金収入	19,270	10,730
特別利益合計	19,270	11,980
特別損失		
固定資産除却損	34,119	1,127
特別損失合計	34,119	1,127
税金等調整前四半期純利益	1,688,265	1,817,282
法人税、住民税及び事業税	507,387	486,016
法人税等調整額	27,291	44,728
法人税等合計	534,679	530,745
四半期純利益	1,153,586	1,286,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,153,586	1,286,537

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,153,586	1,286,537
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,107	△13,539
その他の包括利益合計	△10,107	△13,539
四半期包括利益	1,143,478	1,272,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143,478	1,272,997

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 2018年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を2018年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 2005年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことと致しました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,872,275	2,824,472	16,884	6,713,632	—	6,713,632
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,872,275	2,824,472	16,884	6,713,632	—	6,713,632
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,617,259	1,147,057	△12,153	2,752,163	△869,300	1,882,862

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,968,574	3,207,730	12,198	7,188,503	—	7,188,503
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,968,574	3,207,730	12,198	7,188,503	—	7,188,503
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,660,730	1,036,676	△23,078	2,674,329	△776,834	1,897,495

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。